

日本原子力学会 核燃料部会
平成 28 年度第四回運営小委員会議事録

日時 : 平成 29 年 2 月 20 日 (月) 13:30~16:15

場所 : 日本原子力学会 事務局 会議室

出席者 : 湊部会長、伊藤副部会長、岩元委員、上田委員、宇埜委員、尾形委員、草ヶ谷委員、小崎委員、島田委員、大矢 (武田委員代理)、谷口委員、手島委員、永瀬委員、原田委員、佐合、平井委員、河原 (記)

議事

1. 前回運営小委員会議事録等の確認

河原庶務幹事から、資料 1 により、前回 (平成 28 年度第三回) 運営小委員会議事録が提示された。内容確認済みであり、説明は省略した。

2. 平成 28 年度予算の支出予想と平成 29 年度予算案について

河原庶務幹事から、資料 2 により、平成 28 年度の予算執行状況および平成 29 年度の予算について報告がなされた。

また、メーリングリストのプロバイダーについて、学会事務局からの提案内容に変更することが承認された。

3. 平成 28 年度核燃料部会全体会議の準備について

河原庶務幹事から、資料 3 により、平成 28 年度核燃料部会全体会議資料 (案) の説明がなされた。

以下のコメントを反映した上で、メールで運営小委員会の確認を受けることとした。

- ・活動報告は、運営小委員会だけでなく、企画小委員会も記載すること。また、原子力学会の春・秋の大会の企画セッションの内容も記載すること。
- ・国際会議は、核燃料部会として共催しているものを記載すること。

4. 平成 29 年度 核燃料部会業務分担について

湊部会長から、資料 4 により、平成 29 年度の業務分担のうち、部会長、副部会長について、以下のとおり提案があり、承認された。また、国際担当は、安部田委員の退任に伴い、平成 29 年度の国際会議に実務的に対応できる JAEA の逢坂委員に依頼することが承認された。今後、3 月 27 日の核燃料部会全体会議で審議する予定。

【部会長】 湊 和生 → 寺井 隆幸

【副部会長】 山中 伸介 → 宇埜 正美

5. 平成 28 年度第 2 回部会等運営委員会出席報告

伊藤副部長から、資料 5 により、12 月 22 日に開催された「2016 年度第 2 回部会等運営委員会」の内容について報告され、情報共有が図られた。次回の部会等運営委員会は、5 月もしくは 6 月に開催される予定。

6. 平成 29 年 1 月 24 日企画小委員会報告

尾形委員から、資料 6 により、本年 1 月 24 日に開催された企画小委員会の内容について報告され、情報共有が図られた。なお、来年度の企画小委の事務局は、JAEA 三輪委員に交代となる予定。

7. 学会講演賞を核燃料部会に設置する方向で検討する件

伊藤副部長から、資料 7 により、学会が推奨している若手表彰制度の積極的な導入の一環として、学会講演賞の新設を検討する件に関して、運営小委員会の有志のメンバーで検討していきたい旨の提案があり、承認された。

8. HOTLAB2017 の日本開催について

湊部長から、資料 8 により、本年 9 月 17 日～22 日に水戸で開催される HOTLAB2017 の 1st-announcement に関して紹介があった。日本原子力学会の共催を予定（現在審議中）しており、3 月頃には、組織委員会を設置し、準備を進めていく予定。

9. ANFC2017 への共催について

湊部長から、韓国原子力学会からの問合せに関して、運営小委員会のメール審議のとおり、日本のコンタクトパーソンは、JAEA 逢坂委員とすること、開催希望日は 9 月 8 日～9 日であること（もう一方の候補日である 9 月 14 日～15 日は原子力学会秋の大会と重なっているため）を回答している旨の報告がなされた。また、原子力学会核燃料部会として共催することが承認された。

10. 「核分裂生成物挙動」研究専門委員会における核燃料部会の協力について

永瀬委員から、資料 9 により、水化学部会から「核分裂生成物挙動」研究専門委員会を設置するにあたり、核燃料部会の協力を要請されている旨説明があり、核燃料部会として積極的に参加することが望ましく、水化学部会へ協力していくことが承認された。

一方で、湊部会長より取扱内容が「核分裂生成物挙動」では範囲が広すぎるため、的を絞った方がいい(件名を変える等)のではないかとのコメントがなされ、水化学部会へ協力する旨の回答の際、湊部会長コメントもあわせて伝えることとした。

1 1. 平成 28 年度 (第 5 回) 核燃料部会賞受賞者について

尾形委員から、資料 10 により、平成 28 年度 (第 5 回) 核燃料部会賞に関して部会賞選考小委員会の選考結果について報告がなされ、受賞者として決定した。3 月 27 日の核燃料部会全体会議で表彰式を行う予定。

1 2. ポジションステートメントの状況

尾形委員から、資料 11 により、ポジションステートメント「燃料デブリ」について報告がなされた。現在、ポジションステートメント WG の審査中であり、そこでのコメントを踏まえて、資料修正した後、メールで運営小委員会の確認を受けることとした。

1 3. 核燃料部会報 (No. 52-2) について

原田委員から、資料 12 により、核燃料部会報 (No52-2) について、本年 5 月～6 月頃に発行する予定であること、それに向けた検討状況について報告がなされた。引き続き、執筆者との調整等発行に向けて対応していくことが確認された。

1 4. 2017 年春の年会企画セッションについて

尾形委員から、資料 13 により、2017 年春の年会企画セッションについて、昨年 12 月 22 日に開催された第 2 回部会等運営委員会で審議の結果、採用となっている旨報告がなされた。企画セッションは、3 月 27 日の 13:00 から 14:30 の予定。

1 5. 平成 29 年度夏期セミナー準備状況について

上田委員から、資料 14 により、2017 年 7 月 5 日 (水) から 7 日 (金) にかけて青森市浅虫温泉で予定している夏期セミナーについての準備状況が報告された。

初日の午後に日本原燃施設の見学会、6 日、7 日と講演を予定しており、今後講演内容など詳細なプログラムを確定させていく予定。

16. その他

次回平成 29 年度第一回の運営小委員会については、庶務幹事より次期部会長の予定を確認した上で、メールにて日程調整していくことが確認された。

永瀬委員から運営小委員会の委員を JAEA 天谷氏に交代したいとの提案があった。運営小委員会の委員の交代については、3 月 27 日の核燃料部会全体会議で審議する予定である。

永瀬委員から、尾形委員が IAEA の「燃料挙動と技術に関するワーキンググループ (TWGFPT)」の委員となることが報告された。尾形委員から、TWGFPT の活動のため運営小委各位のご協力をお願いしたい、との発言があった。

17. 結言

湊部会長から、今回が最後の運営小委員会ということで挨拶があった。

2013 年 9 月からの約 3 年半、福島事故の後、学会の活動をどうしていけばいいのか難しい時期であったが、皆様からいろいろ提案いただいて対応していく中で、学会活動は誰かが引張っていくのも大事であるが、一人一人が専門家として引張っていき、それを組織としてまとめてやっていくことが大事であると感じたので、これからも皆様専門家としてがんばっていただきたい旨激励があった。

以 上